



TBS テレビ 2015 年度入社式

4月1日午前10時から、TBSテレビの2015年度入社式が行われ、武田信二新社長ほか幹部が出席、新入社員の門出を祝福しました。

■ 新入社員数

29名(アナウンサー2名、技術4名、一般22名、キャリア採用1名)

■ 武田信二社長 挨拶

新入社員の皆さん、入社おめでとうございます。皆さんを本日からTBSテレビの仲間として迎えることができ、たいへん大変嬉しく思っています。あなたがたは社会人一年生、私も社長一年生でございます。新人同士、仲良くやりましょう。

60年前の今日、TBSはテレビ放送を開始しました。(着用しているTBSテレビ60周年のロゴの入ったネクタイを新入社員に見せながら)このネクタイはビジュアルデザインセンターの社員が作ってくれました。大変楽しい会社です。

日曜日午後6時30分から放送している『夢の扉+』が放送10周年を迎えて、その中からこれだと思えるものを追加取材して書籍にまとめ、「あきらめない人が心に刻んだ24の言葉」となっています。この本の中に出てくることを、私はあなたがたに伝えたい。その中からひとつ紹介します。

農業にIT技術を導入した女性の企業家 加藤百合子さんの言葉で「気づいたとき、気づいた人こそ挑戦を!」「何か問題に気づき、行動することで得られる発見は数知れない」という言葉があります。「挑戦」「スピード」「決断力」、このことを是非頭に入れて仕事をしていただきたいと思います。

やる気は人に言われて動くことではなく、加藤百合子さんのように、日々問題に気づいた人が動けばいいのです。失敗することもあります。私なんか、失敗だらけでした。でも社長になりました。なんとか、なるものです。問題に気づき、やる気を起こして、スピードを持って挑戦してください。拙速でもいいです。しないよりずっといい、動かないよりずっといいと思います。

事に当たって、いろいろな分岐点が出てきます。その時、迷って迷って、さまざまな人の話を聞いて、いずれどこかでは決断しなければならない、そういう時期が必ず来ます。決断力を持った人間になってほしいと思います。

TBS テレビは放送 60 周年を迎えて、昨年から特別番組を放送したり、事業を展開しています。キャッチフレーズは「未来へつなぐ。From TBS」です。このキャッチフレーズのもと、皆さんと一丸となって、TBS を向上させていきたいと思ひます。

私は 24 年前、毎日新聞社から TBS に入社しました。当社は本当に楽しい会社、したいことをさせてくれる会社です。失敗しても、それでもさせてくれる良い会社です。そんな会社をより良くするために、一緒にがんばっていきたく思ひます。

以上